

かわみんタクシーの見直し

-分科会における検討結果-

2021年2月18日

川島町地域公共交通会議

検討経緯①

- 2020年10,11月 かわみんタクシー利用者ヒアリング調査
 - タクシーに同乗して利用者からヒアリング（47件/6日間）
 - 属性は利用データと同傾向（町内割引、高齢、長期間、頻度等）
 - かわみんタクシーの評価は極めて高い（悪いは0件）
- キーワード：便利、助かる、ありがたい、感謝している
⇒サービス継続
- 運賃の自己負担について：安すぎる、ある程度の負担はやむを得ない、500円でも安い、税金で負担してもらっている意識
⇒値上げ（自己負担増）の許容・容認
- 運賃制度について：安すぎる、町外の埼玉医大と康正会で同じ料金はよくない差をつけるべき
⇒利用者負担の区別（距離別）の導入

検討経緯②

- 2020年12月17日 第一回分科会（瀬間委員、飯島委員）
 - かわみんタクシーの見直しに係る分析結果確認
 - 「検討のためのシート」を用いた運行メニューに関する議論
 - ①全体的な値上げ（利用者負担の見直し）【B-1】
 - ②距離による負担区分の設定【B-2】
- 2021年1月14日 第二回分科会（瀬間委員、飯島委員）
 - 町負担とのバランスを検討するためシミュレーションにより複数案を検討
 - 町内・割引利用が非常に多い状況を確認の上で、具体的な数値を検討
 - 利用者の経済的負担を単純に増やすだけでなく、利用方法の見直しによる負担減を同時に目指す

検討経緯③

- 2021年1月21日 運行事業者の現地確認
 - かわみんタクシー運行事業としてのコロナ対策、運行管理状況を確認
- 2021年1月22日 第三回分科会（江間委員）
 - 見直しを契機に、要望が寄せられる指定町外病院の追加について検討
 - 受診実績等を基に追加される指定病院を選定

これらの検討結果に基づき、本資料では、

①運行内容見直し、**②指定病院追加**の内容について提案する。

①運行内容見直し

利用者特性 利用パターン

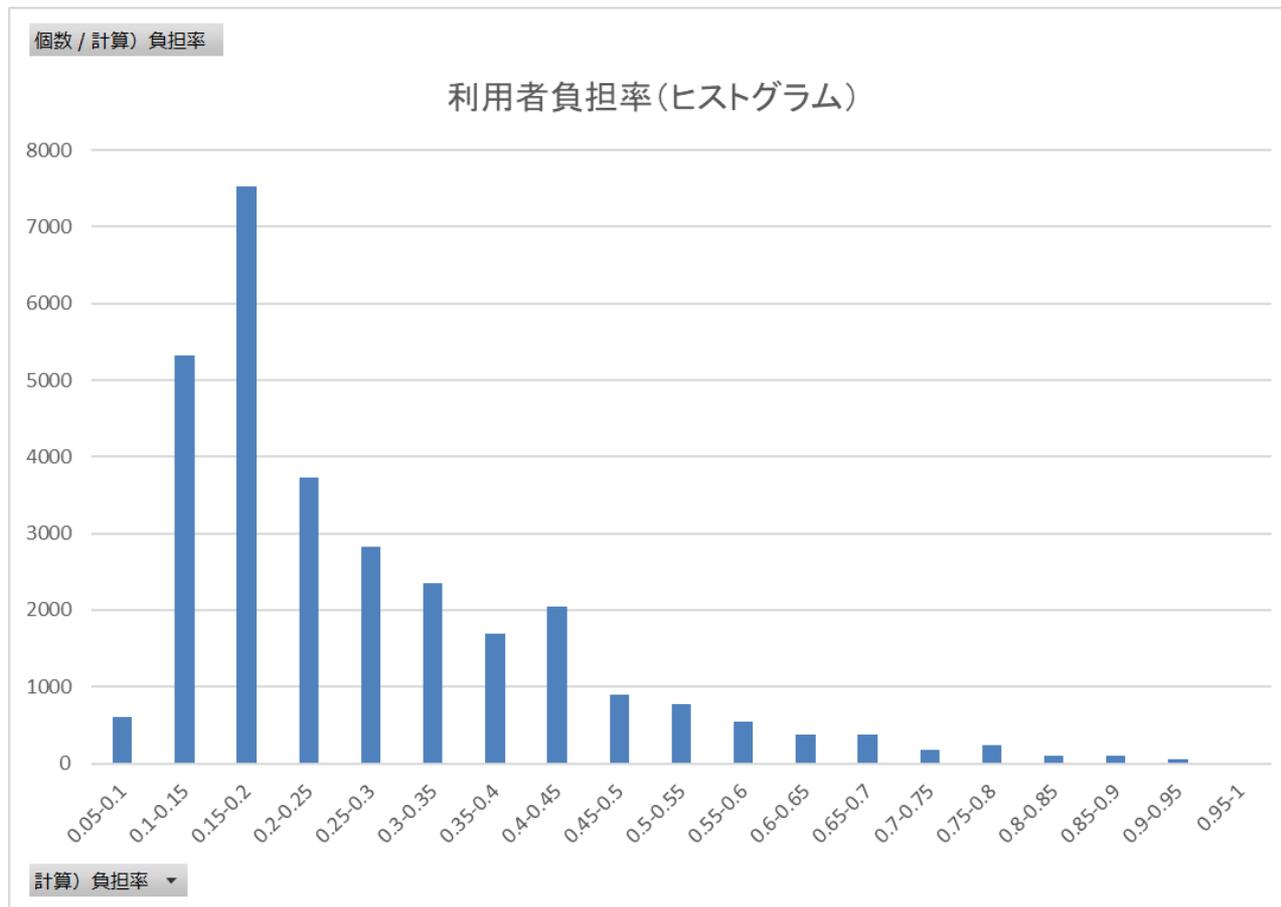
- 利用者の分類
2018年1月～2020年10月
830日運行（利用件数：29,769件）
- 利用数の**7割**が**町内利用・割引有り**

	割引無し	割引有り
町内利用	3,468件 12%	21,151件 71%
町外利用	4,390件 15%	760件 3%

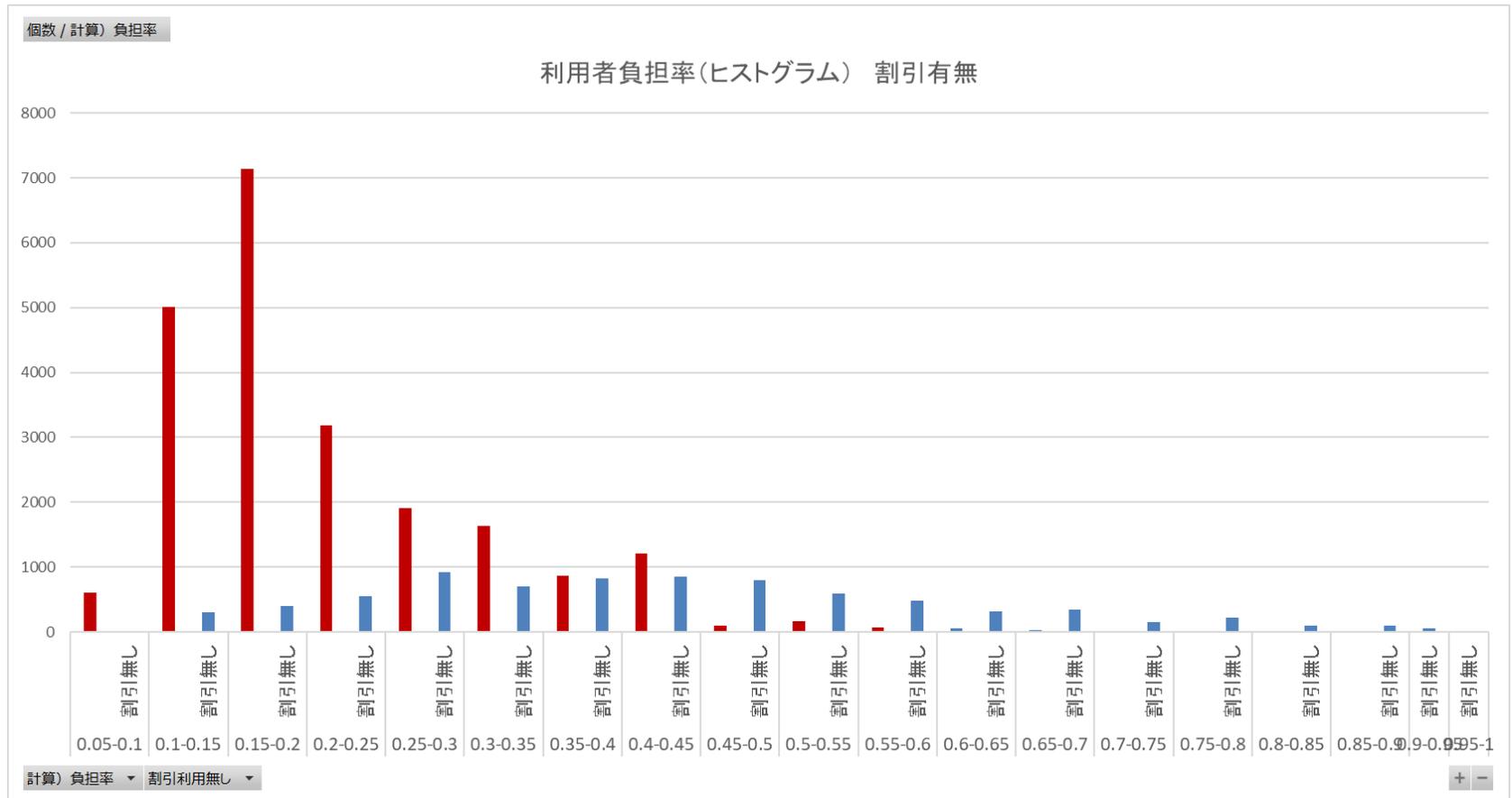
利用者特性 自己負担率

- 利用者負担の“**率**”を確認
- 利用者負担率は低い（＝町負担率が高い）
 - 平均**27%**（最小**5%**）
- 町内利用者 割引無 平均**29%**
- **町内利用者 割引有 平均20%**
- 町外利用者 割引無 平均**53%**
- 町外利用者 割引有 平均**44%**

利用者負担率 全件



利用者負担率 (割引別)



見直しの議論

- 町負担金額固定は採用しない
 - 町負担削減効果は最も大きいですが、同時に利用者負担も大きく増加させるため
- 利用者負担を見直す
 - 提供サービスに対する受益者負担の考え方
- 距離別の利用者負担を設定
 - メータ料金で2つに区分して、距離に応じた利用者負担を設定する（長距離利用に対する受益者負担）
- 町内利用時の割引の見直し（+町外利用）
 - 割引率の見直し → 町負担とのバランスを検討
 - シンプルな金額設定 → 利用者にとってわかりやすい金額

町負担総額の削減率 シミュレーション結果

下記のオレンジ色セルの数値を変動させて、負担額率の変動を確認

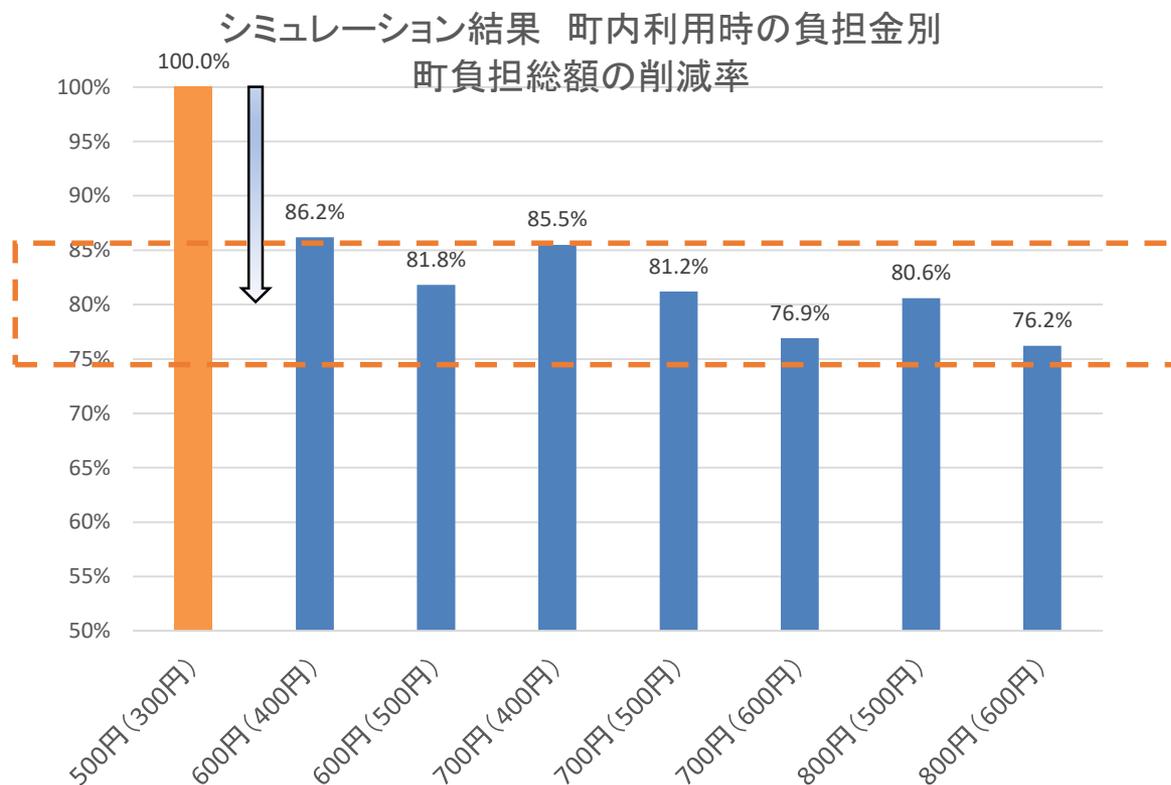
	現状	SIM_A	SIM_A+①	SIM_A+①+②
		基本値上げ	町内長距離値上げ	町外長距離値上げ
			2500円以上	5000円以上
町内	¥500	¥700	¥1,000	
町内割引	¥300	¥500	¥700	
町外	¥1,500	¥2,000		¥3,000
町外割引(障がい)	¥1,350	¥1,800		¥2,700
町負担額率(現状比)		82.8%	81.5%	81.2%

シミュレーションによる検討

町負担総額の削減率を確認

町内利用時の利用者負担金額を変化、現状利用を仮定

現在の80%（20%減）を目安とする



※町内の利用者負担金（割引時金額）で計算

※町外は、2000円（1800円）、メータ5000円以上は3000円（2700円）固定

分科会による検討結果（見直し 分科会案）

シミュレーションシート

かわみんタクシーシミュレーション(2021.01.15現在)			SIM_A		SIM_A+①		SIM_A+②	
	現行	件数	値上げ		+町内長距離		+町外長距離	
					¥2,500	以上	¥5,000	以上
町内利用者負担	¥500	3468	¥700	3468	¥1,000	687		
町内割引(各種)	¥300	21151	¥500	21151	¥700	2503		
町外利用者負担	¥1,500	4390	¥2,000	4,390			¥3,000	120
町外割引(障害1割)	¥1,350	760	¥1,800	760			¥2,700	25
		件数		件数		件数		件数
			SIM可能値	※設定以下が存在				
2018年1月～2020年10月	830	日運行						
メータ総額	¥58,973,290		¥58,973,290		¥58,973,290		¥58,965,790	
個人負担額総額	¥15,690,300		¥23,064,320		¥23,771,020		¥23,913,520	
町負担額総額	¥43,168,990		¥35,756,970		¥35,202,270		¥35,052,270	
事業者割引総額(障がい)	¥114,000		¥152,000					
個人負担率	26.6%		39.1%		40.3%		40.6%	
町負担率	73.2%		60.6%	-12.6	59.7%	-13.5	59.4%	-13.8
町負担額率(現状比)			82.8%		81.5%		81.2%	
該当件数			29769		3190		145	
該当率			100.0%		10.7%		0.5%	
町内最小メータ	¥500							
町内最大メータ	¥5,500							
町外最小メータ	¥1,540							
町外最大メータ	¥6,600							

運行内容見直し（分科会案）

	現行 (件数) %	分科会案 基本的値上げ (件数)	分科会案 町内：2500円以上 町外：5000円以上 (内件数) %
町内	500円 (3468)12%	700円 (3468)	1,000円 (687)20%
町内（割引）	300円 (21151)71%	500円 (21151)	700円 (2503)12%
町外	1,500円 (4390)15%	2,000円 (4390)	3,000円 (120)3%
町外（障がい割引）	1,350円 (760)3%	1,800円 (760)	2,700円 (25)3%
合計	(29769)100%	(29769)	(3335)11%
町負担金額(830日間) 削減率	¥43,168,990		¥35,052,270 81.2%

最も利用が多い「町内・割引」の利用者がワンコイン(500円)！

2021/2/12

約20%の町負担額の削減
当面の間、かわみんタクシーが持続可能な移動支援施策へ

②指定病院追加

これまでの指定状況

- H28.6 テスト運行開始時
 - 国民健康保険被保険者のレセプト件数が最も多い「埼玉医科大学総合医療センター」を指定
(H28.2.8 公共交通会議)
- H29.1 本格運行開始時
 - メーター料金をコントロールするため、役場庁舎から埼玉医科大学医療センターまでの直線距離（約7km）を半径とした円の範囲内にある町外病院を指定が条件。
 - 上記のうち、レセプト件数が上位10位内に入っている医療機関として、「康正会病院（クリニック）」「大谷整形外科」「若葉病院」の3つを追加指定
(H28.11.7 公共交通会議)

②指定病院追加

追加指定検討の方向性及び条件整理

- ① 既に指定している町外病院は**継続**する。
- ② 交通弱者への他の支援を活用できる層（障がい者、要支援・要介護等）は、**既存のサービス利用を促進**する。
 - お助け隊、外出支援サービス事業、障害児（者）生活サポート事業等の利用者層
 - タクシー運転手は介助ができないため、積極的に利用対象に含めない。
- ③ 町負担により実施する事業のため、より多くの方が利用できるよう**レセプト件数や利用者数が上位**にある医療機関を選定対象とする。
- ④ 町外病院に通院する機会を推察し、「**総合病院**」を追加対象とする。
- ⑤ 交通弱者であるものの、支援施策がない**妊婦を利用対象**とする。

②指定病院追加

追加指定病院案

	条件	追加指定病院
①	当町に隣接した自治体に所在 ※役場庁舎から7km圏内を条件としない。	東松山市民病院 (東松山市) 北里大学メディカルセンター (北本市)
②	令和元年度レセプト件数上位20位内にある総合病院	
③	①及び②に合致する病院が複数ある場合、レセプト件数が最上位の総合病院	
1	令和元年度妊婦健診等の利用者数が最上位の病院	愛和病院 (川越市)

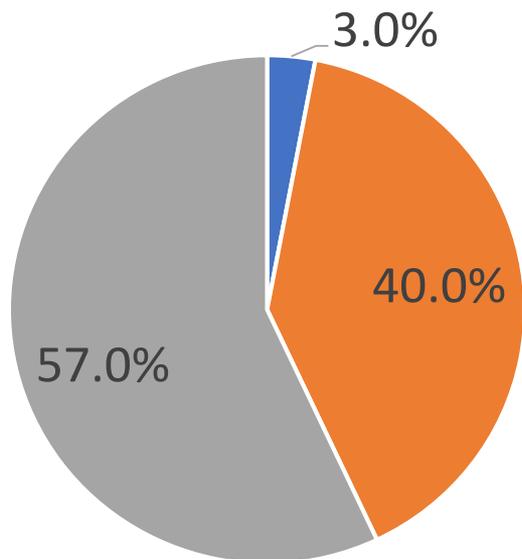
見直し後、利便維持と理解を得るために

- 見直しによる利用料金の値上げ
 - 利用者利便の低下、利用数減少、理解されない懸念
- 乗り合わせルールを見直して複数人利用を促進し、利用時の一人当たりの負担を軽減
 - 行き・帰り、家族・知人と乗り合わせて利用可
 - 利用料金は一人（登録者）が支払い、あとは利用者同士で割ってもでも誰か一人が支払ってもよい
 - 利用パンフ、Q&A等の更新、具体的な利用例を提示
例)「いっしょに帰ろう、かわみんタクシー」
 - 施設やバス車内での周知広報
- 町外病院を見直し（三箇所増）による利用者利便の増加

※参考 第6次川島町総合振興計画策定のためのアンケートより 18歳～24歳 100名の回答結果

町では、事前に登録することにより、自宅などから町内の行きたい場所や指定の町外病院に行くことができ、交通弱者の日中の移動を支援する交通サービスである、かわみんタクシーを平成29年1月より本格運行しています。あなたは、そのサービスを知っていますか。（1つに○）

①使用している	3.0%
②知っているが使用していない	40.0%
③知らない	57.0%



町では、かわみんタクシーの本格運行を開始し、東武バス「川島町役場」線の運行も開始されました。今後、町の公共交通等のさらなる充実のために必要なのは、どのような取り組みだと思いますか。（主なものを2つまで○）

①東武バスの運賃補助	31.8%
②東武バスの本数を増やす	45.5%
③かわみんタクシーの予約システム	5.1%
④かわみんタクシーの町外目的地拡充	12.5%
⑤かわじま安心お助け隊拡充	2.3%
⑥公共交通は利用しない	2.8%

